

ゴール 「だから」と「しかし」を使ってみよう。

一 () の中に「だから」か「しかし」のどちらかを入れましょう。

例 れい 雨がふった。(だから)、運動会は中止になった。

雨がふった。(しかし)、運動会は行われた。

① お兄ちゃんは毎朝ジョギングをしている。()、走るのがはやくなった。

お兄ちゃんは毎朝ジョギングをしている。()、走るのがはやくならない。

② 私わたしは算数がとくいだ。()、テストの点数が悪かった。

私は算数がとくいだ。()、テストの点数がよかった。

③ 昨日きのうよふかしをした。()、体の調子が悪い。

④ 毎日テニスのれんしゅうをしている。()、しあいにかてない。

二 「だから」と「しかし」を使って、文をつくってみよう。

だから、

しかし、

ふりかえり

・前の文と後の文の意味やつながりを意識して接続語を使うことができた。

・「だから」と「しかし」を使って文をつくることができた。

ゴール 「だから」と「しかし」を使ってみよう。

一 () の中に「だから」か「しかし」のどちらかを入れましょう。

例 雨がふった。(だから)、運動会は中止になった。

雨がふった。(しかし)、運動会は行われた。

① お兄ちゃんは毎朝ジョギングをしている。(だから)、走るのがはやくなった。

お兄ちゃんは毎朝ジョギングをしている。(しかし)、走るのがはやくならない。

② 私は算数がとくいだ。(しかし)、テストの点数が悪かった。

私は算数がとくいだ。(だから)、テストの点数がよかった。

③ 昨日よふかしをした。(だから)、体の調子が悪い。

④ 毎日テニスのれんしゅうをしている。(しかし)、しあいにかてない。

二 「だから」と「しかし」を使って、文をつくってみよう。

毎日計算の練習をしている。

だから、

計算がはやくなった。

毎日計算の練習をしている。

しかし、

計算がはやくならない。

ふりかえり

・前の文と後の文の意味やつながりを意識して接続語を使うことができた。

()

・「だから」と「しかし」を使って文をつくることができた。

()